

みな暮らし促進事業

— No.53 皆野町 —

【事業の目的】

移住・定住を促進し、町の人口減少を抑制することを目的としています。

【事業の内容】

人口減少の抑制を柱とする「皆野町まち・ひと・しごと創生総合戦略」（以下、総合戦略）の実現に向け、平成 28 年度から始まった浅草との交流を生かした積極的な情報発信を行います。知名度のアップにより交流人口を増やし、町の魅力を知ってもらうことで移住・定住人口の増加を図ります。

1 知ってもらう・来てもらう（情報発信・交流人口の増加）

- ① 浅草との交流事業の実施
- ② 皆野町魅力発信プロモーター（地域おこし協力隊）の活用
- ③ 町公式 Instagram の皆野高校生による情報発信

2 住んでもらう・住み続けてもらう（移住・定住人口の増加）

- ① 移住・定住促進プロデューサー（地域おこし協力隊）の活用
- ② 「お試し移住体験住宅」の整備・みな暮らし PR
- ③ 空き家・空き店舗情報登録制度の創設
- ④ 空き店舗等を活用した新規創業支援の創設

【事業年度】

平成 30 年度～（浅草との交流事業は平成 29 年度～）

【予算額(千円)】

26,286 千円（平成 29 年度～平成 30 年度）

うち 25,289 千円（平成 30 年度）

【財源】

特別交付税（国）（予定）、彩の市町村愛着連携事業補助金（県）、ふるさと創造資金（県）（予定）、一般財源（町）

【事業実施に至った背景・経緯】

皆野町では、平成7年の国勢調査（12,602人）以降、人口の減少が続いており、国立社会保障・人口問題研究所による推計（総合戦略策定時）では、2060年には4,622人にまで減少すると予測されています。

高齢化の進んだ地域では、今後、日常生活、地域の祭りなどの伝統文化、コミュニティの維持が困難になることが懸念されます。

そこで当町では、総合戦略の確かな実現に向け、平成30年4月にみらい創造課を立ち上げ、情報発信、移住・定住に重点的に取り組むことにしました。

【事業のPRポイント】

- 地域力創造アドバイザーを活用し、浅草との交流を進めています。交流を通じて町の認知度をアップし、情報発信をより効果的なものにします。
- 町公式Instagramを皆野高校生が主体的に運用します。自治体公式アカウントに生徒が自由に投稿できる取組は全国初です。
- お試し移住体験住宅は、空き家を活用し整備します。一部は都市部住民を対象としたDIY講習で行い、整備の段階から町を訪れる機会を創出します。
- 空き家・空き店舗情報登録制度は、ちちぶ定住自立圏で取り組んでいる「ちちぶ空き家バンク」で対象とならない空き店舗や対象とならなかった空き家まで裾野を広げ登録し、情報提供します。

【事業実績・成果・今後の展開】

<平成28年度>

隅田川水面の祭典において、浅草との交流開始を宣言しました。

<平成29年度>

「お試し移住体験」住宅を整備します。（平成30年2月）

<今後の展開>

情報発信や「お試し移住体験」住宅の利用促進により、交流人口、移住・定住人口の増加を図ります。町内の様々な資源を有機的に結びつけ、滞在時間を長期化する流れを作り、賑わい創出に取り組みます。

【参考資料】

みな暮らし促進事業イメージ図

〔連絡先〕

みらい創造課 みらい創造担当 0494(26)7334(内線253)

【みんなの暮らし促進事業イメージ図】

